※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１９

令和４年度　商業科

教科	商業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド 2nd Edition（啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでの鶴見商業高校商業科での学びの中で新しい発見や興味深い発見が色々あったでしょうか。この講座は、そういった発見について、もっと知りたいとかもっと学びたいといったみなさんの内側にある向上心を存分に引き出すことのできる大切な授業です。この授業では、自ら設定したテーマのもと、問題解決のために自らアイデアを出し、個人で学習を進めていきます。定期考査は実施しません。ビジネスに関するテーマについて、その知識や発見を得る過程の中で、何事に対しても一生懸命取り組む姿勢をこの講座で身につけてほしいです。

２　学習の到達目標

自ら課題を設定し、学習活動計画の立案から調査・研究，研究結果の発表までを行う過程において専門的な知識・技能を深めるとともに、主体性・問題解決能力を養う。思考力・判断力・表現力の向上を目標に、３年間の学習の集大成として論文作成及び研究発表を行う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	生徒自らがビジネスの諸問題に関心を持ち、自ら課題設定をしている。主体的かつ積極的に課題解決に向けて取り組むことができている。	生徒自らが設定した課題に対して思考を深め、課題解決に向け収集した情報を適切に判断及び表現する力を身につけている。また、論理的で客観性のある意見を論じることができている。	課題解決に向け収集した情報を適切に活用できている。また、プレゼンテーションソフトの活用や資料や冊子の配布をするなどし、効果的な研究発表ができている。	生徒自ら設定した課題について基礎的な知識を身につけ、理解を深めることができている。
評価方法	授業観察 出欠状況 提出物 研究発表	授業観察 提出物 研究発表	授業観察 提出物 研究発表	授業観察 提出物 研究発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	レポート作成・発表	研究テーマの設定	○				a: ビジネスについて興味を持ち、自らの意志で研究テーマを決めることができた。／ビジネスについて興味・関心を持ち課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組む b: 課題解決に向けて収集した情報を適切に判断し、レポート課題や発表に活かすことができた。作文ではなく論文として、論理的な思考で成果を上げることができた。 c: レポート課題やプレゼンにおいて収集した情報を効果的に活用することができた。また、参考文献や出典を正確に記すことができた。 d: 研究テーマについての知識を身につけそのテーマについて理解を深めることができた。レポートやプレゼンの内容が客観的な事実に基づいたものか。	授業観察 出欠状況 提出物 研究発表
		報告書提出 ※全学期共通	○	○	○	○		
		【発表①】 【レポート①】 研究動機について	○	○	○	○		
		【レポート②】 中間論文″	○	○	○	○		
2学期	論文作成・発表	【発表②】 中間報告	○	○	○	○	a:ビジネスについて興味・関心を持ち課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組む b:課題解決に向けて収集した情報を適切に判断し、論文作成や発表に活かすことができた。作文ではなく論文として、論理的な思考で成果を上げることができた。 c:論文作成やプレゼンにおいて収集した情報を効果的に活用することができた。また、参考文献や出典を正確に記すことができた。 D:研究テーマについての知識を身につけそのテーマについて理解を深めることができた。論文やプレゼンの内容が客観的な事実に基づいたものか。	授業観察 出欠状況 提出物 研究発表
		【レポート③】 卒業論文 作成	○	○	○	○		

※令和３年度以前入学生用

3	卒業発表	【発表③】 研究発表会	○	○	○	○	a:ビジネスについて興味・関心を持ち課題の解決に向けて、主体的かつ積極的に取り組む b:課題解決に向けて収集した情報を適切に判断し、発表に活かすことができた。作文ではなく論文として、論理的な思考で成果を上げることができた。 c:プレゼンにおいて収集した情報を効果的に活用することができた。また、参考文献や出典を正確に記すことができた。 D:研究テーマについての知識を身につけそのテーマについて理解を深めることができた。プレゼンの内容が客観的な事実に基づいたものか。	授業観察 出欠状況 提出物 研究発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。